

適用除外製品等のユーザー団体等からのヒアリング日程表

第 2 回検討会 平成 19 年 12 月 26 日 10:00~12:00

【ユーザー団体】

- ① 日本鉄鋼連盟
- ② 石油連盟
- ③ 日本化学工業協会

第 3 回検討会 平成 20 年 1 月 16 日 10:00~12:30

【ユーザー団体】

- ① 日本造船工業会
- ② 日本防衛装備工業会

【シール材メーカー】

- ③ 日本バルカー工業、ニチアス、日本ピラー工業及びアスクテクニカ
※ 4 社が共同で対応する。

適用除外製品等のユーザー団体等からのヒアリングの実施について

1 ユーザー団体に対するヒアリング

(1) 対象団体

(社)日本化学工業協会、石油連盟、(社)日本鉄鋼連盟、(社)日本造船工業会、(社)日本防衛装備工業会

(2) ヒアリング方法

第2回及び第3回の本検討会において、(1)の対象団体から適用除外製品等の代替化の進捗状況・計画について説明を行い、その後、(3)の項目を中心に本検討会の参集者によるヒアリングを行う。

なお、所要時間は1団体に当たり30分程度とする。

(3) ヒアリング項目

ア 総論

- ① 適用除外製品等の代替化に向けた方針（又は考え方）、取組（又は活動）状況、問題点、具体的な進捗状況、今後の見通し等
- ② （昨年と比較し、）代替が困難な製品の個数が減った理由。例えば、(a) 実証試験等の結果に基づき代替可能となった、(b) 配管そのものが新しいものに交換された、(c) 施設や設備が廃止された、など。

イ 代替化の困難な適用除外製品等について

- ① シール材の種類、用途・使用部位、使用条件（温度、圧力等）、使用個数等
- ② 実証試験の状況等
- ③ ②を踏まえた代替化可能時期（見込み）

ウ アのうち代替化の見通しが立っていないものについて

- ① 理由（コスト、性能や安全性などの問題から適当な代替品が無いなど）
- ② 対応（他の代替品を選定、設備の改造を検討など）
- ③ 代替化可能時期の見通しが立つ時期
- ④ 個別の代替化困難事例

エ その他

- ① 適用除外製品等の代替化に当たって、海外の代替品（輸入品）を使用している場合、海外における実証試験の結果やその活用方法等

2 シール材メーカーに対するヒアリング

(1) 対象メーカー

日本バルカー工業(株)、ニチアス(株)、日本ピラー工業(株)、(株)アスクテクニカ

(2) ヒアリング方法

第3回の本検討会において、(1)の対象メーカーから(3)の項目を中心に本検討会の参集者によるヒアリングを行う。なお、ヒアリングは、(1)の対象メーカー4社が共同で対応することとし、所要時間は1時間半程度とする。

(3) ヒアリング項目

ア 代替品について

- ① 代替品の開発状況、種類、性能、用途、使用条件等
- ② 各団体が代替化困難としている部位への適用の可能性、時期、問題点
- ③ 非石綿シール材（代替品）に用いられる原材料（繊維状物質等）、当該原材料の有害性の評価

イ 現在の適用除外製品等の状況について

- ① シール材の種類及び種類毎の生産量
- ② 今後の生産の見込み